

TOYOHASHI CITY

獣医師採用案内 2024



業務概要



主な配属先は3箇所であり、それぞれが車で20分程度で移動可能なため、住宅購入などの将来設計がしやすいです。

人づくりNo.1をめざすまち豊橋市の魅力

豊橋市の概要

東三河の中心都市として発展

- 人口：約37万人
- 風土：豊かな自然と温暖な気候
サーフィンのできる太平洋に面し、ウミガメの産卵で知られる表浜海岸あり山にも海にも、市内から30分で行ける
- 交通：新幹線停車駅ありアクセス抜群
東京、大阪から新幹線で2時間以内名古屋までJR、名鉄で1時間以内
- 産業：日本トップクラスの産出額を誇る農業
全国シェア〈1位〉ウズ、スナップエンドウ〈4位〉トマト
- 名産品：ちくわ、うずら卵、筆、大葉、カレーうどん
- その他：手筒花火、路面電車、豊橋総合動植物公園
まちなか図書館、ドラマ・映画ロケ

共働き子育てしやすい街ランキング2022 全国3位 (日本経済新聞社・日経BP「日経クロスウーマン」実施)

数字で見る豊橋市の動物

- ・豊橋総合動植物公園 140種、818頭羽
- ★アジアゾウ 6頭 (2021年7月現在)国内公立公園最多
- ・表浜海岸アカウミガメ上陸回数 年平均 93回
- ・汐川干潟で観察された鳥類 167種 (1995年～)
- ・豚 2021年度市町村別農業産出額 全国14位
- ・犬登録数 人口100人に6.3頭 (全国4.9頭)2020年度

健康部 保健所

生活衛生課 (所属獣医師 9名)

監視・審査グループ

食品営業施設、食品製造工場等への許認可、監視指導、食中毒調査や、理容・美容・クリーニング業等の環境衛生施設への監視指導を行っています。また、近年では、コロナ感染症対策の一環として、様々な営業施設での空気環境測定なども実施しています。

試験検査グループ

市民や事業者からの依頼により、食品・糞便・井戸水等の検査を行うとともに、食品衛生法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等に基づく行政検査を実施しています。近年では、新型コロナウイルスのPCR検査も行っています。



動物愛護グループ



犬や猫の適切な飼養方法に関する啓発、地域猫の不妊去勢手術費補助、犬の登録、狂犬病予防業務など、動物と共生する住みよいまちづくりを進めています。近年では、子供向けの動物ふれあい教室や講座を開催するなどの動物愛護啓発に力を入れています。



動物愛護センター新設

2025年度の開設を目指し、現在整備事業を進めています。



動物愛護センター完成イメージ

「人と動物が共生する住みよいまち」の実現に向けた新たなそして大きな一歩。ぜひ一緒に進めていきましょう!

先輩職員より

ペット同行避難やセンター立ち上げなど新たな試みが楽しみ!

私は今年の春から動物愛護グループでお世話になっています。主に狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律に基づく手続きや、啓発活動などを行っています。例えば4月は狂犬病集団予防接種、そして6月以降は豊橋各地の小学校への出前講座を実施します。まだまだ窓口や電話対応で戸惑うことも多いですが、少しずつできることを頑張っていこうと日々業務にあたっています。これからはペット同行避難訓練や動物愛護センターの立ち上げなど、新たな試みにも関わり、貴重な体験ができることが楽しみです。愛護分野も充実していくので、一緒に働いてくれる仲間を待っています!

後藤 ゆき (入庁1年目)

感染症対策室 (所属獣医師 2名)

感染症のエキスパートとして人の健康を守る

新型コロナウイルス、インフルエンザ等の調査、感染症対策を行っています。また、平常時には健康危機管理、感染予防のためのイベント開催、ポスター等の資材作成・配布・講習会による普及啓発活動を実施しています。

食肉衛生検査所 (所属獣医師 16名)

最前線で獣医学を生かす

獣医師しかできない「と畜検査」で家畜の疾病・異常を排除するとともに、有害残留物質や微生物の検査を行うことで安全で衛生的な食肉の提供に努めています。

畜産の盛んな地域にある強み

検査頭数 (R4年度牛7,556頭、豚205,238頭) は、東海北陸地方で最多です。畜産の盛んな地元の生産地からの家畜の受け皿になっており、珍しい症例にも数多く遭遇できます。生産者への検査結果のフィードバックに加え、臨床獣医師との情報交換会や家畜保健衛生所との連絡会議など、他団体との連携を密に行っています。

職員のある一日

8:15	登庁
8:30	と畜検査(牛)
12:00	休憩(1時間)
13:00	微生物検査
15:30	打ち合わせ
16:00	事務作業
16:45	終礼(申送り)
17:00	退庁



先輩職員より

まだまだ勉強の毎日

一昨年、新卒で入庁し、現在3年目です。豊橋市の強みは、生産地に近い検査所であるため、様々な病畜を検査できる場所だと感じています。大学で得た専門知識を生かせる、というよりむしろ、曖昧だった部分は今一度教科書を開いて復習の日々です。また検査所内は獣医師のみですが、研修などではまったく違う畑の人と接点を持つこともあり、世界が広がりました。もちろん産育休などの制度も充実しており、安心して働くことができます。

縣 舞 (入庁3年目)

いろいろな業務を経験し自分にあつた道を見つけて

これまで食肉衛生検査所、生活衛生課、愛知県との人事交流制度を利用し愛知県豊川保健所で働いてきました。令和4年度から産業部農業支援課へ異動となり、畜産・漁港を担当することになりました。畜産では豚熱や高病原性鳥インフルエンザなどの家畜伝染病の発生防止に向けた防疫事業や畜産農家への補助金事業を行います。漁港では表浜海岸環境美化に関する業務などを行います。業務が多岐にわたり苦労することもあります。その分やりがいがあり発見もあり、自分自身のステップアップにつながります。いろいろな業務を経験し自分にあつた道を見つけて欲しいと思います。

福田 和弘 (入庁18年目)

総合動植物公園

動植物園 (所属獣医師 5名)

広大な敷地と多種多様な動物たち

動物園と植物園、自然史博物館と遊園地が併設された国内唯一の総合公園です。動物園では現在約140種、818点の動物(哺乳類・鳥類・爬虫類)が飼育されており、保全、研究、教育普及に取り組んでいます。

野生動物のスペシャリスト

現在、動物園には動物の安全、動物福祉の向上、教育の機能が求められており、豊橋市の動植物園においても獣医師を中心に取り組んでいます。飼育されている動物たちの治療・疾病予防などの健康管理、園内の衛生管理や希少動物の調整業務に従事しているほか、飼育員や動物研究員と協力して調査研究、教育普及にも携わっています。



先輩職員より

ここでしかできない経験、勉強の毎日

私は小動物臨床と大動物臨床を経験した後に豊橋市に入庁し、食肉衛生検査所勤務を経て、動植物園勤務となりました。家畜類の治療等で前職の知識や経験が活かせる場面もありますが、ここで新しく経験することも多く、勉強の毎日です。動物園の業務は多岐にわたり、大変ではありますが、ここでしか経験できないことも多く、非常にやりがいがあると思います。

橋本 顕嗣 (入庁5年目)

市役所 産業部

農業支援課 (所属獣医師 1名)

農業王国を獣医師の立場から支える

畜産業(牛、豚、鶏、鶉)発展のため、施設整備の補助、販売促進を行っています。鳥インフルエンザや豚熱など家畜伝染病の防疫対策の支援、発生時には家畜保健衛生所など関係機関との連絡調整を行います。

先輩職員より

気になる疑問にお答えします

Q. 初任給はどれくらいですか？

- A. 令和5年4月現在の新卒者の初任給は、月額 212,901円（地域手当含む）です。その他、住居手当（最大28,000円まで）、通勤手当、期末・勤勉手当（年2回、計4.3月分 ※令和4年度実績）、時間外勤務手当、業務内容に応じて、特殊勤務手当（と畜検査（日額900円）、野犬収容（日額400円）、感染症検査（日額400円）など）を支給します。

Q. 勤務時間や休暇について教えてください。

- A. 【勤務時間】 月～金曜日 ※動植物園は土日祝日も開園のため不定休（4週につき8日休）
8時30分～17時15分 ※食肉衛生検査所は 8時15分～17時00分
- 【休暇】 有給休暇（年20日）、夏季休暇（5日）、健康保持休暇（2日）、産前産後休暇、出産補助休暇、育児参加休暇、子の看護休暇、ボランティア休暇、介護休暇など。有給休暇は、1時間単位で、取得できます。

Q. どのような研修がありますか？

- A. 獣医師として専門知識を深めるために、国、県の研修や講習会への参加の機会が多数あります。採用時に社会人・市職員としての基礎を学ぶ他、様々なメニューが揃う選択型研修を受けます。自己研修のための補助金制度、大学院や国際貢献活動のための自己啓発等休業制度もあります。

Q. 過去の受験状況について教えてください。

- A. 過去の採用試験の結果は、以下のとおりです。

募集年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	令和3年度		令和4年度		
募集時期	6月	11月	6月	11月	6月	6月	11月	6月	11月	1月
募集人数	1名	若干名	1名	若干名	若干名	若干名	1名	若干名	若干名	1名
受験人数	5名	1名	2名	-	18名	2名	2名	3名	1名	1名
合格人数	1名	1名	1名	-	2名	1名	2名	1名	1名	1名

Q. 出産や子育て支援について教えてください。

- A. 産前・産後休暇（各8週間）、出産補助休暇（2日以内）、育児時間休暇（1日2回30分以内）、育児参加休暇（5日）、子の看護休暇（5日/こども一人）、育児休業（最大3年間）、部分休業（1日2時間まで）を取得できます。獣医師のうち、女性の割合は3割で、女性の育児休業取得率は100%です。子の養育のため、勤務時間を最大1時間までずらすことができる豊橋市独自の「マイスタイル勤務制度」や育児短時間勤務制度（就学前まで）もあります。

Q. 配属先はいつわかりますか。配属先が替わることはありますか。

- A. 採用試験に合格した場合、配属先を3月下旬にお知らせしています。配属先の異動は、一般的に3～5年ごとに行われますが、状況によって早くなったり遅くなる場合もあります。

下記までお気軽にお問い合わせください（インターンシップも随時受付中）

獣医師の業務、本パンフレットの問い合わせ先

豊橋市 保健所 生活衛生課

TEL: 0532-39-9124

E-mail: seikatsueisei@city.toyohashi.lg.jp

豊橋市 食肉衛生検査所

TEL: 0532-23-4929

E-mail: shokunikueisei@city.toyohashi.lg.jp



採用試験の問合せ・申込方法

豊橋市役所 総務部 人事課

TEL: 0532-51-2040

E-mail: jinji@city.toyohashi.lg.jp

